

## 海外安全対策情報 2021 年第 2 四半期（4～6 月）

在ブルガリア日本国大使館

### 1 社会・治安情勢及び一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

#### （1）社会情勢

4 月 4 日に総選挙が実施され、その結果、過半数獲得に至った政党はなく、また、その後、各党による組閣が成立しなかったため、5 月 12 日に選挙管理内閣（暫定政権）が発足し、7 月 11 日に再び解散総選挙が実施されることになりましたが、治安への大きな影響は見られませんでした。

#### （2）治安情勢

ブルガリアの犯罪発生件数は近年減少傾向にあり、2020 年の犯罪総数は前年比マイナス 22.1%で、2011 年の約 54%にまで減少しました。しかし、その一方で、日本と比較すると依然として犯罪発生率は高く、人口 10 万人当たりの発生件数では、犯罪総数は日本の約 2 倍、殺人は約 4.7 倍、強盗は約 12.9 倍となっています。

#### （3）邦人被害犯罪の発生状況

この期間中、邦人が被害に遭った事件は認知していません。

### 2 テロ・爆弾事件発生状況

5 月 12 日午後 2 時 15 分頃、ソフィア空港地下鉄駅の地下鉄車両内において、発砲事件が発生し、男女各 1 名が死亡しました。捜査の結果、本件は当事者間のトラブルにより、男性が女性に発砲した後、自殺したものであり、警察はテロとは無関係であると発表しました。

その他、テロ・爆弾容疑事件は発生していません。

### 3 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人が被害に遭った事件は認知していません。

### 4 日本企業の安全に関する諸問題

ブルガリア国内における対日感情は基本的には良好で、日本人に対する差別行為はこれまであまり見られませんが、新型コロナウイルスは中国から持ち込まれたという思いや、長引くコロナ禍を背景としたストレスや不満の蓄積により、今後、中国人と日本人との混同も含め、アジア人全体に対する差別が顕在化してくるおそれがありますので、十分ご注意ください。